

## 2021年度上半期業績のお知らせ

楽天インシュアランスホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：橋谷 有造）の2021年度上半期（2021年4月1日～2021年9月30日）の業績についてお知らせいたします。

### 【楽天インシュアランスホールディングスについて】

楽天インシュアランスホールディングスは、楽天保険グループにおける迅速かつ的確な意思決定と統一的なガバナンスを実現するために2018年7月2日に設立いたしました。

傘下に有する会社においては、それぞれ生命保険事業・損害保険事業・少額短期保険事業（ペット保険）・保険代理店事業を行っており、楽天グループが提供する幅広いサービスと連携して保険販売を推進しております。

### 【連結業績ハイライト】

- グループ連結の経常収益は62,914百万円（前年同期比14.9%増）、経常利益は1,565百万円（前年同期比3,186百万円増）、当期純利益は858百万円（前年同期比2,195百万円増）となりました。また、連結ソルベンシー・マージン比率は1,107.1%となりました。

（単位：百万円）

主要業績指標	2020年度 上半期 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	2021年度 上半期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	
			対前年同期比
経常収益	54,746	62,914	114.9%
経常利益	△1,621	1,565	+3,186
当期純利益	△1,336	858	+2,195

### 【生命保険事業】

- 対面チャネルにおいて、新契約年換算保険料が対前年同期比**21.0%増**と伸展しました。また、インターネットチャネルでも、新契約年換算保険料が対前年同期比**12.5%増**となり、個人保険全体の**新契約年換算保険料は2,352百万円（前年同期比18.4%増）**となりました。
- 8月から販売を開始している「**楽天生命認知症保険**」は、多くのお客さまからご好評いただき、今後の販売がさらに拡大することを見込んでおります。
- 医療保険、定期保険、終身保険といった主力商品の販売や、団体信用生命保険などの保有契約の増加により、**共済商品区分（\*1）を除く生命保険契約の保険料収入については、12,338百万円（前年同期比11.4%増）**となりました。
- 団体保険については金融機関との**団体信用生命保険の新規取引を拡大した**ことで、保険料収入が対前年同期比**39.7%増**と大きく伸展しております。
- 保険料収入が順調に増加していることに加え、ペーパーレスオペレーションの更なる推進やウェブでの保全、給付金請求の増加など、お客さまの利便性を向上させた結果、コスト削減にも好影響があり、**経常利益は1,082百万円（前年同期実績297百万円）、当期純利益は717百万円（前年同期実績202百万円）**となりました。

\*1 共済商品区分についての新規募集は停止しております。

### 【損害保険事業】

- 個人用自動車保険「**ドライブアシスト**」においては、**2020年11月に同商品WEBサイトのデザイン等を改善し、2021年1月よりインターネット割引を22%から25%へ拡大した**ことから、順調に伸長し、**新規インターネット契約件数は、前年同期比129%増**でした。
- 住宅向け火災保険「**ホームアシスト（家庭総合保険）**」においても、**2021年1月に日本初（\*2）となる火災保険のインターネット割引を導入して以降、順調に販売件数を増やしており、新規インターネット契約件数は前年同期比108%増**でした。
- 正味収入保険料は、「**楽天あんしん延長保証**」や「**楽天モバイル端末保証**」等の**楽天グループのシナジー効果により287百万円増収し8,497百万円**となりました。
- **経常利益は前年同期より2,226百万円増加し382百万円、当期純利益は1,547百万円増加し77百万円**となりました。

\*2 当社調べ（2020年8月末）。特定の方（住宅ローン利用者、取扱代理店案内の特定契約内容をインターネット上で確認・申込する方等）に限定される割引を除きます。

### 【少額短期保険事業（ペット保険）】

- **2020年4月に販売を開始した「ずっといっしょ【もっと】」が順調に契約件数を伸ばしています。**楽天経済圏の活用による継続的な楽天会員様向けプロモーション実施や代理店のネット販売に取り組みました。
- **2020年11月に「楽天ペット割」プログラムの登録者向けに提供を開始した「ペットミニ保険」**を入り口に、他商品へのお申込みが増加しています。
- **2021年上半期末の保有契約件数は167千件（前年同期比13.3%増）**となりました。

- 順調な保有契約件数の伸展および再保険取引の活用により、2021年上半期の保険料等収入は3,485百万円（前年同期比13.1%増）となりました。
- 楽天グループ内外との協業の推進強化やインターネットを中心とするマーケティングに注力し、保有契約件数、保険料等収入ともに大きく伸展しておりますが、お客さまへの保険金支払いの増加や、新商品開発、楽天保険グループとしての施策など諸投資を継続していることから、経常利益は△122百万円、当期純利益は△92百万円となりました。

#### 【保険代理店事業】

- 2019年6月に開設した「楽天保険の総合窓口」は、楽天保険グループのお客さま窓口を一本化、お客さまニーズにより一層お応えするサービスの提供を行っております。
- 「楽天保険の総合窓口」では、生命保険、損害保険、ペット保険の枠にとらわれず、楽天保険グループの商品についてのご相談やお問い合わせ、ご契約者さまのお手続きをワンストップで受け付けています。2020年10月には、アプリの提供を開始し、「楽天保険の総合窓口」マイページをご利用のお客さまは本アプリから、楽天保険グループでご契約いただいている商品の確認やご契約内容の変更手続きができるようになりました。
- 2021年9月に「楽天保険の総合窓口」は、お客さまへのサービス品質の向上を目的として、コンタクトセンターにAIオペレーターを導入しました。音声認識のみでご本人確認や担当窓口への転送が可能だけでなく、一部のご契約内容の変更手続きも音声認識のみで完了させることができるようになりました。

楽天インシュアランスホールディングスは、楽天生命保険、楽天損害保険、楽天ペット保険、楽天保険の総合窓口の相互のシナジーを創出しつつ革新的なイノベーションを実現し、一層の成長を目指してまいります。

参考：IFRS 決算による業績について

楽天グループでは、IFRS（国際財務報告基準）を採用しているため、当社においても、日本基準のほかにIFRSを採用し、経営管理の指標としております。

（単位：百万円）

	2020 年度 (2020 年 4 月～2020 年 9 月)	2021 年度 (2021 年 4 月～2021 年 9 月)	
			対前年同期比
営業収益	54,632	48,806	89.3%
損害保険事業	30,276	21,258	70.2%
生命保険事業	18,501	20,925	113.1%
その他	5,854	6,622	113.1%
営業費用	54,717	45,728	83.6%
損害保険事業	32,239	21,666	67.2%
生命保険事業	16,036	17,510	109.2%
その他	6,442	6,550	101.7%
当期純利益（税引前）	△85	3,078	+3,163
損害保険事業	△1,962	△408	+1,553
生命保険事業	2,465	3,415	138.5%
その他	△588	71	+659

- ・ 営業収益は対前年同期比 89.3%となりましたが、一方、営業費用は対前年同期比 83.6%となり、当期純利益（税引前）は 3,078 百万円（前年同期比 3,163 百万円増）となりました。

<IFRS 決算と日本基準決算の主な違いについて>

1. IFRS では、新契約獲得にかかる費用を当期に一括計上せず、繰延新契約費として繰延処理を行います。日本基準では、新契約獲得にかかる費用を、当期費用として一括計上します。
2. IFRS では、責任準備金の計算に市場金利を用いております。日本基準では、標準責任準備金の対象契約については金融庁長官が定める方式、標準責任準備金の対象とならない契約については平準純保険料式を用いる等、保険業法の定めに従っております。
3. IFRS では、異常危険準備金の積み立てはございません。
4. IFRS では、VOBA（取得事業価値。取得日現在における保険契約の公正価値への調整額を無形資産に計上したもの。）の償却費用を計上しております。

<その他注記>

- ・ 楽天保険グループ各社（楽天生命保険株式会社、楽天損害保険株式会社、楽天少額短期保険株式会社、楽天インシュアランスプランニング株式会社）で作成した IFRS 損益計算書の単純合計となっております。

以上

【 お問い合わせ先 】

楽天インシュアランスホールディングス株式会社  
経営企画部 広報担当 E-mail: ihd-cpd-pr@mail.rakuten.com

1.中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2020年度 連結会計期間末 (2021年3月31日現在)	2021年度 中間連結会計期間末 (2021年9月30日現在)
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金及び預貯金	115,728	114,721
買入金銭債権	9,745	9,522
有価証券	291,778	266,089
貸付金	551	237
有形固定資産	925	864
無形固定資産	12,024	11,583
その他の資産	38,569	22,332
繰延税金資産	10,036	10,157
貸倒引当金	△149	△147
資産の部合計	479,209	435,361
(負債の部)		
保険契約準備金	244,531	224,057
支払準備金	12,944	11,411
責任準備金	231,586	212,646
その他の負債	202,172	179,716
借入金	149,809	149,551
その他の負債	52,362	30,164
退職給付に係る負債	2,994	3,177
役員退職慰労引当金	9	10
特別法上の準備金	8,285	8,405
価格変動準備金	8,285	8,405
繰延税金負債	242	259
負債の部合計	458,237	415,627
(純資産の部)		
資本金	9,911	9,911
資本剰余金	6,805	6,805
利益剰余金	△4,475	△3,617
株主資本合計	12,241	13,099
その他有価証券評価差額金	29,190	21,833
繰延ヘッジ損益	△20,432	△15,166
退職給付に係る調整累計額	△27	△31
その他の包括利益累計額合計	8,730	6,634
純資産の部合計	20,972	19,734
負債及び純資産の部合計	479,209	435,361

## 2.中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2020 年度 中間連結会計期間 ( 2020 年 4 月 1 日から 2020 年 9 月 30 日まで )	2021 年度 中間連結会計期間 ( 2021 年 4 月 1 日から 2021 年 9 月 30 日まで )
	金 額	金 額
経 常 収 益	54,746	62,914
損 害 保 険 事 業	33,748	40,199
保 険 引 受 収 益	29,959	35,167
正 味 収 入 保 険 料	8,146	8,403
収 入 積 立 保 険 料	4,753	5,745
積 立 保 険 料 等 運 用 益	976	598
支 払 備 金 戻 入 額	—	1,614
責 任 準 備 金 戻 入 額	16,083	18,805
資 産 運 用 収 益	3,708	4,891
利 息 及 び 配 当 金 収 入	2,880	1,567
有 価 証 券 売 却 益	1,801	3,887
有 価 証 券 償 還 益	—	14
為 替 差 益	1	—
そ の 他 運 用 収 益	1	20
積 立 保 険 料 等 運 用 益 振 替	△ 976	△ 598
そ の 他 経 常 収 益	80	140
生 命 保 険 事 業	16,242	17,972
保 険 料 等 収 入	16,070	17,503
保 険 料	15,656	16,346
再 保 険 収 入	413	1,157
資 産 運 用 収 益	131	219
利 息 及 び 配 当 金 等 収 入	126	136
有 価 証 券 売 却 益	4	82
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	0	0
そ の 他 経 常 収 益	41	249
少 額 短 期 保 険 事 業	3,444	3,498
保 険 料 等 収 入	3,081	3,485
責 任 準 備 金 等 戻 入 額	348	4
資 産 運 用 収 益	0	0
そ の 他 経 常 収 益	14	8
そ の 他	1,310	1,242
経 常 費 用	56,367	61,349
損 害 保 険 事 業	34,757	38,891
保 険 引 受 費 用	29,665	32,890
正 味 支 払 保 険 金	7,338	7,422
損 害 調 査 費	1,768	1,597
諸 手 数 料 及 び 集 金 費	1,515	1,072
満 期 返 戻 金	18,871	22,743
契 約 者 配 当 金	34	32

支払備金繰入額	111	—
為替差損	—	0
その他保険引受費用	26	21
資産運用費用	677	1,892
有価証券売却損	562	1,570
有価証券評価損	—	0
為替差損	—	315
その他運用費用	115	5
営業費及び一般管理費	4,365	4,066
その他経常費用	48	41
生命保険事業	14,752	15,790
保険金等支払金	5,305	6,317
保険金	1,226	1,554
給付金	3,238	3,412
解約返戻金	0	1
その他返戻金	28	45
再保険料	811	1,303
責任準備金等繰入額	867	85
支払備金繰入額	27	85
責任準備金繰入額	840	—
資産運用費用	0	21
支払利息	0	0
貸倒引当金繰入額	0	21
事業費	7,026	7,599
その他経常費用	1,551	1,767
少額短期保険事業	3,276	3,424
保険金等支払金	2,408	2,455
責任準備金等繰入額	—	99
事業費	868	869
その他	3,581	3,243
経常利益	△ 1,621	1,565
特別損失	148	142
固定資産等処分損	10	21
特別法上の準備金繰入額	122	119
価格変動準備金繰入額	122	119
その他特別損失	15	1
税金等調整前中間純利益	△ 1,769	1,422
法人税及び住民税等	38	407
法人税等調整額	△ 471	156
法人税等合計	△ 432	564
中間純利益	△ 1,336	858
親会社株主に帰属する中間純利益	△ 1,336	858